

九鬼氏の足跡たどり縁つなぐ

九鬼水軍

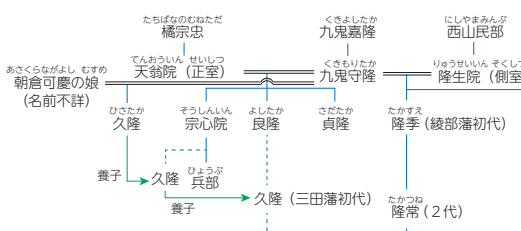
ゆかりの3市綾部に集結

初代綾部藩主・九鬼隆季のルーツで、志摩国（三重県）の鳥羽を拠点に水軍の将として活躍した九鬼氏。父子が東西両軍に分かれた関ヶ原の戦い、江戸幕府が介入したお家騒動を経て、内陸の丹波綾部と摂津三田（兵庫県）へ移りました。この縁をきっかけに3市の相互交流を深め、地域の魅力発信や観光振興などにつなげようと、市や市教育委員会、市内関係団体でつくる実行委員会は10月21日、「九鬼氏ゆかりのまちサミットin綾部」を開催。鳥羽市や三田市の関係者など150人が、九鬼氏の歴史を振り返るとともに、「縁」の発展に期待を膨らませました。

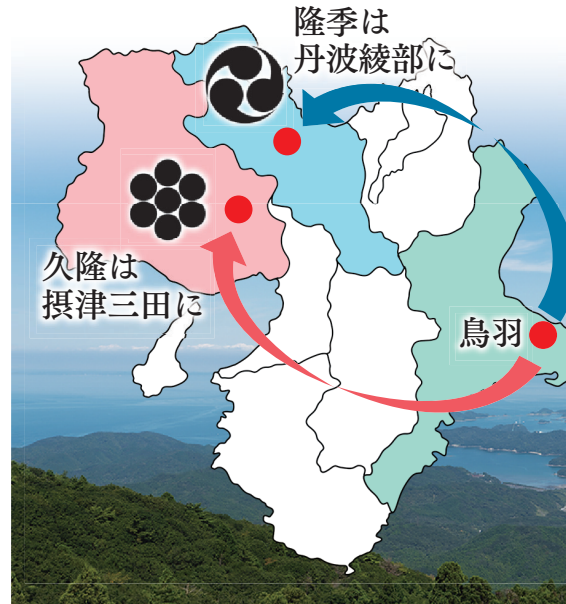
信長や秀吉に仕えた大名

九鬼氏は、南北朝時代から安土桃山時代にかけて、志摩国・伊勢国を中心に勢力を振るった豪族です。11代当主・嘉隆は戦国、安土桃山時代に織田信長や豊臣秀吉の下で水軍大将として活躍。志摩国を治める大名にのし上がり、文禄3（1594）年に鳥羽城（三重県鳥羽市）を築きました。慶長2（1597）年には嘉隆の子・守隆が家督を継承しました。その後、同5（1600）年、関ヶ原の戦いが起こると嘉隆が西軍、守隆が東軍に分かれて参戦。敗れた西軍側についた嘉隆は、自害してその生涯を終えます。

九鬼氏家系図



資料館「第26回特別展示」パネルから一部を抜粋



九鬼嘉隆像（常安寺蔵）

家光の裁定により国替えに

寛永9（1632）年、守隆が亡くなると、跡継ぎの座を巡って、三男・隆季と五男・久隆の間で家督争いが勃発。これに江戸幕府が介入し、3代将軍・徳川家光の裁定により、隆季は丹波綾部に、久隆は摂津三田にそれぞれ国替えを命じられました。こうして九鬼氏は分裂し、戦国の世に名をはせた水軍は消滅することになりました。

末裔や関係者などが参加

サミットは、あやテラス・ホール（青野町）で開催しました。会場には、綾部藩九鬼氏の末裔で熊野本宮大社（和歌山県田辺市）の九鬼家隆宮司をはじめ、鳥羽市や三田市の関係者のほか、市民などが集結。九鬼宮司は開会に当たり「3市の新たな発展につながる機会にしてほしい」と述べました。

基調講演は、九度山・真田ミュージアム（同県九度山町）の北川央名館長が「九鬼水軍の歴史と九鬼嘉隆・守隆の生涯」と題して登壇。綾部藩と三田藩の家紋が違ふことについて「別系統の九鬼家の家紋。嘉隆は『左三つ巴』を使っていたが、守隆の代で『七曜』に

「九鬼氏を次の世代へ」

パネルディスカッションでは、九鬼氏に詳しい4人が意見交換。「嘉隆の生涯は大河ドラマになるほどのユニークさがある」「サミットを機に、より多くの人が九鬼氏に興味・関心を持つような取り組みを」「ゆかりの地は3市以外にもある。裾野を広げては」などと、未来への期待を膨らませました。最後に実行委員長の山崎市長が「九鬼氏ゆかりのまちサミット宣言」を朗読。「ここに集まった皆さんとともに、歴史資料の共有や文化イベント等を通じた相互理解と交流促進を図るとともに、次の世代に継承していく」と宣言し、閉会しました。



コピーでは九鬼氏にまつわる遺物・古文書やパネルを展示。資料館で実施中の企画展（12月25日まで）で、一部紹介しています



①②サミットのオープニングを飾った綾部太鼓と綾部踊り。寛永11（1634）年に隆季が鳥羽から伝えたと言われています
③パネルディスカッションで意見を交わすパネリスト④サミット宣言を読み上げる山崎市長と、九鬼氏ゆかりの地の関係者ら



世界連邦推進綾部市小・中学生

地球市民の集い実行委員会（委員長、山崎善也・綾部市長）が平和と環境をテーマに実施しているコンクールの受賞作品が決まりました。本年度の応募はポスター253点、作文39点。入賞者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。

最優秀作品



同じ空の下、同じ風に乗って、
平和を運ぼう

宇野蘭紗 (豊里中2年)

命のバトン

波多野光ひかり
(東綾中3年)

80年前の8月6日、広島に原子爆弾が落とされた。私には関係のない昔の話だと思っていたが、SNSで、写真家・江成常夫さんが撮った被爆者・谷口稜暉さんの背中の中の写真を見て考えが変わった。谷口さんは「この傷を撮りなさい」と言っ
て、原爆の悲惨さを伝える覚悟を示したという。その姿に、命の重みと戦争への恐怖心を覚えた。被爆者が減る今、私たちに渡された命のバトンを後世につないでいくため、原爆や戦争の恐ろしさを他人ごととせず受け止めたい。(要約)

※全文は市ホームページ（記事ID6002）に掲載しています

作文の部

ポスターの部
優秀／片岡優奈（豊里中1年）▽
金田かなな（河北中2年）
佳作／土田創大（中筋小5年）▽
野間心結（豊里小5年）▽山口侑
暉（吉美小6年）▽白波瀬愛奈（何
北中2年）▽白波瀬未緒（東綾中
2年）

地球市民の集いを開催

10月26日、青野町のあやテラス・ホールとの
づくり交流館多目的ホールを会場に「地球市民の集
い」（同集い実行委員会主催）が開催されました。
戦後80年を迎えた本年は、戦争や平和について考
えるプログラムで実施。戦没者遺族による講話のほ
か、戦下での暮らしや命の尊さを描いたアニメー
ション映画の上映、平和関連ポスターやパネルの展
示などを行いました。



▲自身の戦争体験を語る市戦没者遺族会の廣瀬^{たいち}泰千会長＝写真右



▶過去に市戦没者追悼式で読み上げられた「追悼の辞」を綾部高校放送部の生徒が朗読



10月22日には、関係者が市内のゆかりの地を視察。隆興寺では焼香をあげました



隆興寺（神宮寺町）

綾部藩九鬼家の菩提寺。境内には、同家代々の墓所をはじめ、隆季が伏見稲荷大社（京都市伏見区）から特別に遷宮を許された稲荷神社などがあります。

正暦寺 (寺町)

隆季が入部して以来、九鬼家の祈願寺に。現在の伽藍（山門・本堂・庫裏・鎮守堂など）は、九鬼家の庇護によって江戸時代後期に整えられました。九鬼家から、参勤交代の安全祈願に信仰されていた不動明王立像＝右端写真＝や鶯籠の寄進を受けたといわれています。1月に開催の「不動明王大祭」では、交通安全などを願う大護摩供養が行われます。



駕籠の内部側面には松や鶴、梅などの図柄が施され、天井には草花が描かれています



九鬼氏以外にも！

谷氏

山家城址公園（広瀬町）▶

羽柴(豊臣)秀吉に仕えていた初代山家藩主・谷衛友が構えた陣屋跡。市内で唯一、高石垣が残っています。サクラや紅葉の名所としても親しまれています。



◀上林城址（八津合町）

上林^{かみりん}一帯を治めていた上林^{かみりん}氏の居城。山の形から蝸牛^{かたつむり}ヶ城^{じょう}とも呼ばれていました。後に入部した藤懸^{ふじかけ}永勝^{えいしょう}によって、麓^{ふもと}に陣屋^{じんや}が築^{つく}られました(藤懸陣屋)。

綾部太鼓

九鬼水軍の陣太鼓に由来しています。現在では、祭りやイベント、式典などで披露され、会場を盛り上げます。

綾部踊り

踊りの動作は、農民が坂の上にあった陣屋に年貢米を納める姿を表しているといわれています。8月のお盆の時期に「あやべ盆踊り大会」が開催されます。

見えない差別に気付く勇氣

講師の衣笠さんは、参加者に「部落差別は今でもあると思いますか」と問いかけ、自身の周りで実際に起きた3件の結婚差別の事例を紹介。「自分の周りに特別多いわけではない。社会には、差別が多く存在している。その実態を



講師の衣笠さん

シリーズ 人権を考える 人権を考えるセミナー

「私たちは部落差別とどう向き合っていくのか」

鳥取市人権情報センター 衣笠尚貴さん

9月19日に開催された第3回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

知ってもらいたい」と話しました。また、差別は「する人」「受ける人」「その他大勢の人」に分けられると指摘。無自覚や無意識のうちに行われていることも多く、差別を受けた本人は指摘したくても、周囲の反応を気にして言い出せないことが少なくありません。差別を無くすためには、周囲の人が差別に気付く、声を上げることが大切。衣笠さんは、「差別は、見ようとしなければ見えないもの」と訴えました。

誰もが安心して心豊かに暮らせる社会をつくるためには、一人一人が人権意識を高め、差別に気付く、解決へとつなげる行動をとることが重要です。研修などの機会を通して、人権について学び続けましょう。

実際に走行する車両を
忠実に再現!



参考サイズ: 車高3.5×車幅3×車長5.3cm

あやバス



販売
スタート



©TOMY「チョコQ」は
株式会社タカラトミーの
登録商標です

市は、あやべ市民バス（愛称・あやバス）の運行開始20周年を記念して、あやバスチョコQを販売します。

販売場所

- ・市役所市民協働課（本庁舎1階）
- ・上林いきいきセンター（八津合町）
- ・西部いきいきセンター（物部町）
- ・あやべ特産館（青野町）
- ・あやべ観光案内所（駅前通り）

11月21日(金) 販売開始

数量限定 1個 1,500円(税込み)

図書館ほんでほんで通信mini

絵本作家たかいよしかずさん

ようかいむら絵本展

期間 11月22日(土)~12月14日(日)

子どもたちに大人気の絵本「ようかいむら」シリーズ(国土社)をはじめ、ポーロニャ国際絵本原画展の入選作品やマーブルわんちゃんの立体人形などを間近で見ることができます!ぜひお越しください!

場所 図書館2階ギャラリー
(青野町)

費用 無料

※11月25日(火)、26日(水)、12月1、8日(月)は休館

<問い合わせ> 図書館☎(42)6980 ☎(42)4570



今月の手話

野菜



①指をやや曲げて向き合わせた両手を



②2段に丸を描くように上げる

協力: 京都府聴覚障害者協会綾部支部

綾の聖地



大本長正殿に臨んで広がる旧農業研究センター跡地に整備が進む「綾機平」でこの度、世界平和祈願「大本歌祭」が開催された。国家や民族、言語、宗派の垣根を越え、心ひとつに世界平和の実現を願う短歌を奉納し朗詠する神事だが、その礎は「万教同根」「人類愛善」にある。そしてこの理念は、本市が全国に先駆けて唱えた世界連邦の思想や、市民憲章の第一項で「平和をねがい、祈りのあるまちにしよ」と謳った精神にも重なる。

綾部の地において大本が開教したのが明治25年、郡是製糸(現グンゼ株式会社)の創業が同29年、そして60年後の昭和25年に世界連邦都市宣言をしている。個別の成立ではあるものの、宗教史・文化人類学者の中沢新一氏は「全てが

地下茎の如く、綾部の地で繋がっている」と評し、また民族・比較文明学者の梅棹忠夫氏は「丹波の山奥の小田園都市が突如として世界的運動に突進していくのは驚くに足る」と記している。

本市は2000(平成12)年にエルサレム市と友好宣言を行い、以後「中東和平プロジェクト」と銘打ってイスラエルとパレスチナ双方の紛争孤児らを計13回にわたって日本に招く事業を展開してきた。近時は現地情勢の悪化により中断を余儀なくされているものの、エルサレムは語源的に「平和の礎」と解釈され、聖なる地として大本ではこの綾部を並べ置く。歌祭の催された綾機平には間もなく「綾機神社」が造営されると伺っているが、世界平和・世界連邦を象徴する場となることを祈念している。

夜の静寂が御神体の本宮山と神殿を包み込み、かがり火が焚かれ幽玄な雰囲気醸す中、儀式も佳境に入り、全国から寄せられた歌が朗々と詠まれていった。中には万国共通語エスプレントで詠まれた歌も数多くある。惜越ながら拙首も特別献詠歌として披露された。世界へと届けたいを綾部から平和の歌は風となりゆく

山崎善也(綾部市長)